

令和7年度 事業報告書

社会福祉法人 おあしす新川

- I. 法人本部
- II. 特別養護老人ホーム
- III. ショートステイ
- IV. デイサービスセンター
- V. 在宅介護支援センター
- VI. 入善町地域包括支援センター

目 次

I. 法人本部

1. 法人の概要

(1) 法人の認可	P.1
(2) 法人の理念	P.1
(3) 法人の行う事業	P.1
(4) 役員等の状況	P.2
(5) 理事会・評議員会等開催の状況	P.3
(6) 監事の監査状況	P.4
(7) 資産の状況	P.4
(8) 職員配置状況	P.5

2. 令和7年度法人本部及び全般の取り組みについて

(1) 組織体制の見直し	P.6
(2) 経営体質の強化	P.7
(3) 魅力ある職場・喜んで働ける職場づくり	P.8
(4) お客様満足度の向上	P.9
(5) 地域ニーズへ応えられる施設づくり	P.10
(6) 中長期を見据えた施設等の長寿命化	P.11

II. 特別養護老人ホーム

1. 令和7年度特別養護老人ホーム事業について	P.12
2. 重点目標取り組み事項と成果	P.12
3. 令和7年度特別養護老人ホーム利用状況	P.15
4. 令和7年度特別養護老人ホーム活動状況	P.16

III. ショートステイ

1. 令和7年度ショートステイ事業について	P.18
2. 令和7年度ショートステイ利用状況	P.18
3. 令和7年度 要支援・要介護度別利用状況	P.18
4. 成果	P.18

IV. デイサービスセンター

1. 令和7年度デイサービスセンター事業について	P.19
2. 令和7年度デイサービスセンター利用状況	P.19
3. 令和7年度デイサービスセンター活動状況	P.20
4. 成果	P.21

V. 在宅介護支援センター

1. 令和7年度在宅介護支援センター事業について	P.22
2. 居宅介護支援	P.22
3. シルバーハウジング生活相談員派遣	P.23
4. 成果	P.24

VI. 入善町地域包括支援センター

1. 令和7年度入善町地域包括支援センター事業について	P.25
2. 総合相談支援	P.25
3. 権利擁護	P.26
4. 包括的・継続的マネジメント支援	P.26
5. 介護予防支援	P.27
6. その他	P.27
7. 成果	P.27

I. 法人本部

1. 法人の概要

(1) 法人の認可

① 法人認可年月日	平成12年3月23日
② 法人認可番号	富山県指令高第556号
③ 設立登記年月日	平成12年4月4日
④ 主たる事務所の所在地	富山県下新川郡入善町上野2803番地
⑤ 代表者氏名	理事長 田 中 広 司

(2) 法人の理念

お	・ ・	思いやる真心とぬくもりの手
あ	・ ・	明るい笑顔と温かいまなざし
し	・ ・	人格の尊重と自立の支援
す	・ ・	健やかに老いる人生介護

(3) 法人の行う事業

①第1種社会福祉事業

事業等の種類	介護老人福祉施設
施設名称	特別養護老人ホーム おあしす新川
定員	110名（内 ユニット型 60名）

②第2種社会福祉事業

（イ）老人デイサービス事業

事業等の種類	通所介護
施設名称	デイサービスセンター おあしす新川
定員	35名

（ロ）老人短期入所事業

事業等の種類	短期入所生活介護（ショートステイ）
施設名称	特別養護老人ホーム おあしす新川
定員	20名

(ハ) 老人介護支援センター

事業等の種類 居宅介護支援
施設名称 在宅介護支援センター おあしす新川

③公益事業

(イ) 地域包括支援センター

事業等の種類 介護予防支援
施設名称 入善町地域包括支援センター

(4) 役員等の状況

①役員・評議員の人数

役員 9名 [理事7名、監事2名]
評議員 8名

②役員・評議員任期

役員 R7 定時評議員会の日（令和7年6月26日）～
R9 定時評議員会終結の時
評議員 R7 定時評議員会の日（令和7年6月26日）～
R11 定時評議員会終結の時

<役員> 任期：R7 定時評議員会の日（6月26日）～R9 定時評議員会終結の時

役員名	氏 名	備 考
理 事	田 中 広 司	理事長
理 事	井 上 理 恵	
理 事	藤 井 原	
理 事	神子沢 喜 彦	施設長
理 事	廣 田 美津子	事務長
理 事	寺 田 祐 子	特養ホーム部長
理 事	稲 村 優花里	デイサービスセンター長
監 事	梅 津 将 敬	
監 事	高 倉 健 二	

<評議員>任期：R7 定時評議員会の日（6月26日）～ R11 定時評議員会終結の時

氏 名	推薦団体等
目 澤 晴 彦	学識経験者
上 田 和 男	入善町経営者協会代表
飯 田 孝 子	地区自治会役員
吉 崎 嗣 憲	学識経験者
柳 澤 伸 子	入善女性団体連絡協議会
松 原 章	特別養護老人ホームおあしす新川家族会会長
小 堀 勇	社会福祉事業団体代表
村 田 悦 子	上原地区民生児童委員

(5) 理事会・評議員会等開催の状況

第1回理事会（令和7年6月11日）

- 議案第1号 令和6年度事業報告の承認について
- 議案第2号 令和6年度収支決算の承認について
- 議案第3号 次期役員の選考について
- 議案第4号 評議員の選考について
- 議案第5号 評議員会の開催について
- 議案第6号 評議員選任・解任委員の選任について
- 議案第7号 評議員選任・解任委員会の開催について
- 議案第8号 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について

第1回評議員選任・解任委員会（令和7年6月18日）

- 議案第1号 評議員の選任について

定時評議員会（令和7年6月26日）

- 議案第1号 令和6年度収支決算の承認について
- 議案第2号 次期役員の選任について

第2回理事会（令和7年6月26日）

- 議案第9号 理事長の選定について

第3回理事会（令和7年8月22日）

議案第10号 令和7年度1次補正収支予算（案）について

第4回理事会（令和7年11月26日）

- ・法人中間監査の報告
- ・デイサービス防犯カメラの設置について
- ・令和7年度介護ロボット整備計画の一部変更（wifi環境整備）について

第5回理事会（令和8年3月18日）

議案第11号 令和8年度事業計画（案）について

議案第12号 令和8年度収支予算（案）について

議案第13号 役員等の損害賠償責任保険の加入について

議案第14号 給与規程の一部改正について

議案第15号 経理規程の一部改正について

議案第16号 社会福祉法人おあしす新川指定介護老人福祉施設
運営規程等の一部を改正する規程について

（6）監事の監査状況

第1回 監査会
（令和7年5月22日）

1. 令和6年度事業報告について
2. 令和6年度収支決算について

第2回 監査会
（令和7年11月19日）

1. 令和7年度上半期事業報告について
2. 令和7年度上半期収支報告について

（7）資産の状況

基本財産

- | | |
|------|---|
| ① 預金 | 15,000,000円 |
| ② 建物 | 特別養護老人ホームおあしす新川 1棟
(鉄骨・鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 3,637.37㎡)
(鉄筋コンクリート造3階建 延床面積 1,364.74㎡)
(鉄骨・鉄筋コンクリート造平屋建 延床面積 1,459.38㎡) |
| ③ 土地 | 富山県下新川郡入善町上野 2806番、2807番、2808番、
2809番
特別養護老人ホーム敷地 7,670㎡ |

(8) 職員配置状況

①部署別職種別の職員数（休職者0人）

（令和8年3月31日現在）

		施設長	シフト長	事務員	相談員	管理 栄養士	主任 介護支 援専門 員	介護 支援 専門員	社会 福祉士	介護職	看護職	清掃等	運転手	計
特 養	正職員	1		5	2	2		3		53	5			71
	臨職等									26	4	4		34
デ イ	正職員		1		2(2)	(2)				1				4
	臨職等									7	1	1		9
在 支	正職員		(1)				1							1
	臨職等				2									2
包 括	正職員						2	2	2		1			7
	臨職等							1						1
正職員計		1	1	5	4	2	3	5	2	54	6	0	0	83
臨職等計		0	0	0	2	0	0	1	0	33	5	5	0	46
計		1	1	5	6	2	3	6	2	87	11	5	0	129

*（ ）は兼務

②入退職状況（正職）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 職	介護職	2					1		1	1				5
	看護職													0
	その他	1	1											2
	入職者計													7
退 職	介護職	1											1	2
	看護職													
	その他													
	退職者計													2

・退職理由（定年…1人、自己都合…1人）

③シルバー人材センターからの派遣

部署名	職種	計
管理課	宿直員	3
特養	清掃等	9
特養 デイサービス	運転業務	9
計		21

2. 令和7年度法人本部及び全般の取り組みについて

(1) 組織体制の見直し

①ガバナンスの強化

- 法令、定款その他に基づく会議及び法人運営に必要な会議を開催した。
経営会議（3回）、理事会（5回）、監査会（2回）、評議員会（1回）、
評議員選任・解任委員会（1回）、入所検討委員会（4回）、運営推進会議（12回）
- 役員等改選時期に役員等人数を見直し、理事7人、評議員8人とした。

<成果>

- ・役員等人数を見直し、それぞれ1人減とし定款に沿った会議を開催した。

②危機管理の共有

- 今年度は、新型コロナウイルス感染による集団感染が2回発生した。（4月特養そよかぜ、2月特養あおぞら）
- 介護事故件数は、昨年よりやや多く159件だった。（R6, 140件）
- デイサービスセンターのサービス提供中に、行方不明者が発生する事故があった。
再発防止のため利用者確認の徹底を申し合わせ、定期目視のほか監視カメラを設置した。
- 行政報告事故は特養4件、ショートステイ4件、デイサービス3件の合計11件だった。（R6, 15件）
- 苦情申し立ては0件（R6, 0件）、意見・要望は13件（R6, 9件）を受け付けた。

令和7年度 介護事故発生件数

（令和7年4月～令和8年3月）

	転倒	転落	すり落ち	加傷	打撲	誤嚥	異食	火傷	誤薬	行方不明	連絡ミス	その他	事故合計	異常時対応	行政報告	損害保険
デイサービス	4	0	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	9	4	3	3
ショートステイ	13	1	3	1	0	1	1	1	4	0	0	1	26	4	4	4
あおぞら	7	0	11	5	4	1	1	0	18	0	0	8	55	5	1	1
そよかぜ	10	1	2	17	0	1	2	0	11	0	0	2	46	7	2	2
かがやき	2	0	2	6	0	0	2	0	8	0	0	3	23	4	1	1
R7年度計 <AED使用>	36	2	18	30	6	3	6	1	42	1	0	14	159	24 <1>	11	11
参考R6年度計	30	5	22	28	5	4	6	0	27	2	0	11	140	19 <1>	15	16

単位/件

<成果>

- ・コロナ感染症による感染者が発生した時には、現場をはじめ施設全体が感染拡大防止に向けて情報の共有と感染対策に取り組み収束できた。
- ・デイサービス行方不明者発生事故以来、職員の再発防止意識が高まり、利用者確認が徹底され再発防止に活かされている。
- ・苦情申し立ては無かったが、意見・要望のあった内容について現場と協議し、その家族には丁寧に説明し対応に努めた。

③組織活性化

○異動希望調査と人事評価を基に人事異動を実施した。(4/1、6/1)

<成果>

- ・4月1日付けデイサービスセンター長の異動はじめ昇任等の人事異動は、組織の維持強化につながった。

(2) 経営体質の強化

①見える化の推進

○毎月の予算執行状況をグラフで見える化した。

<成果>

- ・毎月の予算執行状況をグラフで確認することで、運営状況を意識し業務遂行ができた。

②経営の安定化

○稼働率は、特養部門は 98.0% (R6 98.1%)、在宅部門はショートステイ 87.0% (R6 78.2%)、デイサービス 71.1% (R6 68.9%) だった。

○特養退所後の入所事務に係る日数を7日/人以内と申し合わせしているところ、平均7.8日/人 (R6 5.7日/人) と昨年度より日数が多かった。これは退所者数が多かったことが原因となっている。退所者数46人 (R6, 34人)

○特養入所者の入院者数は昨年よりやや少なく、入院率1.1%だった。(R6 1.4%)

<成果>

- ・特養部門は、入退所者が多かったため入所事務に係る日数が増えたが、入院率が低かったおかげで安定した稼働だった。
- ・ショートステイは、職員不足による利用者調整を随時行って稼働を押さえてきた。それでも安定した稼働だった。
- ・デイサービスは、新規利用者、回数増の利用者など切れ間なく確保に努めた。前年度より稼働率は増えたが、予算見込みよりも少なかった。

(3) 魅力ある職場・喜んで働ける職場づくり

①人材の確保

- 給与規程を一部改正し、R7.4.1 から初任給基準を上げた。
- 資格手当を見直し、R7.4.1 から 3,000 円を 5,000 円に上げた。
- おあしす就職希望者を紹介した職員に「職員紹介制度支援金」を 3 人に支給した。
(R5. 6 人)
- 入善町等の介護職員確保支援事業を積極的に活用した。
 - ・入善町介護職員就労定着支援金（対象者 2 人）
 - ・入善介護研修受講促進支援金（対象者 1 人）
 - ・介護保険組合人材発掘支援（対象者 2 人）
- 有給休暇取得を促進し 10.3 日/人だった。(R6. 12.2 日/人)
- 子育て職員支援として勤務時間や夜勤の制限などの配慮を希望した職員 2 人に対応した。(R6. 1 人)
- 実習施設として実習生 7 人の依頼があり、積極的に受け入れた。(R6. 2 人)
- 公共求人紹介先から就職希望者 7 人の紹介をいただいた。(R6. 3 人)
- さらなる処遇改善を目指し、給料表ほか手当等を見直した。

<成果>

- ・初任給基準の引上げ、資格手当の引上げにより在職職員はもちろん、魅力ある施設として職員募集時の求人票の効果が期待される。
- ・入善町等の介護職員確保支援事業は、該当する職員に積極的に声をかけ喜ばれている。
- ・実習生の受け入れは、施設の PR を兼ねて積極的に受け入れてきた。確保にはつながらなかったが、学校側からは好評価をいただいた。

②人材への育成

- 資格取得を支援した。 更新：介護支援専門員 2 人、主任介護支援専門員 2 人、
新規：介護福祉士 2 人、喀痰吸引研修 3 人
- 各種研修機会を提供した。施設外研修 90 件（内オンライン 22 件）
施設内研修 18 回（内新任職員研修 4 回）
- 施設内研修では、研修テーマに沿った動画を入れ共有した。(14 回/22 本)

<成果>

- ・喀痰吸引等の研修対象者 49 人中研修修了者は 42 人（85%）となり特養の夜勤体制加算取得を維持している。
- ・介護福祉士資格を取得した 2 人の成果は、資格を目指す職員にも励みとなっている。

③職場環境の向上

- 昨年度に引続き重点課題「多職種連携」と「人間力を高める」の取り組みについて、動画での研修をはじめ現場会議等で大切さを根気よく伝えた。

<成果>

- ・身体状況が変化しやすい利用者のケア援助の際には、多職種がそれぞれの専門的視点を尊重し、話し合い、ケア方針を立てることでサービスの質の向上につながり、家族からの評価も高まった。
- ・「人間力を高める」研修を継続して実施することで、チーム力が高まり働きやすい環境につながった。

(4) お客様満足度の向上

① サービスの向上

○介護ロボットの導入は、今年度特養あおぞらに整備した。

aams 見守りロボット 50 台、スマートフォン 20 台

ココヘルパ（ナースコール）91 台

○家族面会（直接面会）の継続

令和 7 年度面会は延べ人数平均 152 人/月。（R6. 92 人/月）

冬期間も数年ぶりに直接面会を試みた。

<成果>

- ・介護ロボット導入は、昨年度特養そよかぜに続くもので計画的に広めてきた。導入現場の職員は、研修を経た職員や特養そよかぜ職員と協力的に取り組むことができた。
- ・家族や入居者から冬期面会の希望が多数あり、注意事項を申し合わせ実施した。結果、予約制、回数や時間制限、受付にて健康チェック、マスク着用の協力を得て問題なく実施できた。多くの面会があり、喜ばれ、入居者と家族の要望や満足度に繋がった。

② 看取り介護の推進

○本人の尊厳を守り家族の思いに寄り添いながら、主治医からの病状説明をはじめとし、最期まで多職種で情報を共有しながら丁寧な対応を行った。

○看取り介護同意 41 人（R6. 32 人）、 看取り介護 38 人（R6. 27 人）

<成果>

- ・看取り介護は平成 29 年からスタートして 9 年が経ち、概ね定着してきた。たくさんの看取り介護を経て、同じケースが皆無であること、また一人一人丁寧な対応が大切であることを学んだ。

③ 情報の発信

○「おあしす便り」を発行し利用者の日常生活の様子を伝えた。（6 回）

○生前の思い出の一部を担当職員が一筆箋に記して香典に同封した。39 件（R6. 28 件）

○インスタグラムで施設内の様子を発信した。（毎月）

<成果>

- ・「おあしす便り」に記載する担当者からのコメント欄は、家族から「様子がよくわかります。」と好評。
- ・一筆箋に寄せた職員の言葉を葬儀会場で読み上げられた例もあり、一筆箋活動が生前の思い出を家族に届ける機会の一つとなっていることを感じた。

(5) 地域ニーズへ応えられる施設づくり

①行政との連携

○初任者研修受講生 12 人と、入善町福祉施設見学体験ツアー 7 人を受け入れ、施設内の見学と、利用者に提供している昼食（モバイル食）を体験していただいた。

<成果>

- ・昨年に引き続き、初任者研修受講生と入善町福祉施設見学体験ツアーの受け入れは、地域の方に入善町の福祉施設を知っていただく良い機会となった。

②公益事業

- 地域包括支援事業の相談総数は 5,091 件だった。(R6. 5,090 件)
- 住民向けの事業や集会場に介護保険制度や認知症予防などについて講師を派遣した。
- 認知症予防教室（8 回/年）、認知症初期集中支援事業（3 回/年）の継続。

<成果>

- ・認知症の理解や予防等、地域住民に必要な情報を提供し支援につながり喜ばれた。
- ・認知症予防教室や認知症初期集中支援事業では、認知症の早期発見ケースに対して適切な支援を行い予防につながった。

③地域貢献

- 町法人会事業のフードドライブ（生活困窮世帯支援）会場に職員を派遣した。（2 回）
またフードドライブ事業に提供する食糧品を職員間で集め届けた。（2 回）
- 町内外の開催する研修会等に講師を派遣した。（初任者研修 7 日間、延 4 人）

<成果>

- ・地域の福祉活動に参加することで地域貢献につながった。
- ・町内外の介護人材育成機関へ職員を講師派遣することで、おあしす新川の知名度がアップした。
- ・講師として派遣された職員は、自己のスキルアップと自信につながった。

(6) 中長期を見据えた施設等の長寿命化

①施設設備

- | | | |
|--------------------|-----------|---------------|
| ・非常放送設備更新 | 8,085 千円 | |
| ・浴室改修（そよかぜ 1 階） | 11,055 千円 | |
| ・Wi-Fi 環境整備（あおぞら） | 5,896 千円 | 内補助金 3,423 千円 |
| ・介護ロボット導入（あおぞら） | 13,336 千円 | 内補助金 9,145 千円 |
| ・ナースコール更新（あおぞら） | 10,821 千円 | |
| ・Wi-Fi 環境整備（デイ・包括） | 1,444 千円 | |

<成果>

- ・老朽化に伴う非常放送設備更新と浴室改修（そよかぜ 1 階）は、計画的に実施し完了した。
- ・介護ロボット導入は、昨年の特養そよかぜに続き特養あおぞらに整備した。見守り機器の効果は検証中だが、ナースコールを新しい機種に更新したことで故障（旧・PHS）の心配はなくなり、今後の成果が期待される。
- ・施設内の Wi-Fi 環境が整い（特養かがやきは R.8 年度の予定）見守り機器、ナースコールが端末と連動した。また介護記録等がどの場所からでも入力可能となった。

②送迎車輛

- 送迎車輛更新（特養） 1,584 千円

<成果>

- ・老朽化に伴い新型車輛を更新した。コンパクトで小回りが利き、スロープタイプの福祉車輛は使いやすい。

Ⅱ. 特別養護老人ホーム

1. 令和 7 年度特別養護老人ホーム事業について

特別養護老人ホームでは稼働率は 98.0%と概ね良好だった。

- ① 入院率（1.1%）
- ② 入退所時所要日数（平均 7.8 日） 退所 46 件（月最多 6 件×3 回）
- ③ 看取り介護の定着（看取りでの退所 38 件、全退所者の 83%）

2. 重点目標取り組み事項と成果

（1）安全で安心なサービスを提供する

① 感染対策に努め、入所者の健康・生活を守る

- ・施設内感染予防を目標に毎月感染対策委員会や施設内研修実施し標準予防策（基本の手洗い、嘔吐物や排泄物等の処理ほか）の周知徹底を図った。
- ・令和 7 年度の入居者コロナ感染数は 4 月/6 人と 2 月/13 人であった。5～7 日間の療養期間を経て皆さん軽症であった。

<成果>

- ・入居者のコロナ感染発生時は、発症から収束までの期間適宜臨時会議を開催し、関係者間で情報共有と対応の確認を行い、施設内感染拡大防止に努めた。また、これらの施設内感染拡大防止対策として実施したことは、マニュアル等の点検と見直しをする良い機会となった。

② 虐待防止対策、認知症ケア、接遇（ことば使い）の研修を推進し入居者の人格の尊重と自立の支援に取り組む。

- ・虐待防止施設内研修（2 回） ・認知症ケア勉強会（6 回）
- ・虐待防止委・身体拘束適正化委員会（4 回）、フロア会議（毎月）不適切ケアの点検

<成果>

- ・認知症ケア、虐待防止、身体拘束廃止の施設内研修を定期的を実施することで、不適切なケアについて検証し、不適切ケアの意識付けや防止に繋がった。

③ 看取り介護の継続

- ・看取り介護での退所者は 38 件だった。年間退所者の 83%を占めた。
- ・主治医からの病状説明、多職種と家族参加によるサービス担当者会議では入居者と家族の意向・尊厳・その人らしさを視点にもち援助方針を検討し看取り介護に努めた。
- ・日々変化する様子を伝えながら、本人と家族の揺れ動く思いを受け止め対応した。家族が会いたい時に面会に来ていただき、家族との時間を大切にして対応した。

令和7年度看取り介護状況

	R4	R5	R6	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
看取り介護同意状況	継続			R7新規同意												
	21人			41人												62人
・主治医師と担当看護師 ・ケアプラン作成(3か月 1か月 随時)	2	4	15	2	5	2	6	1	3	4	5	3	3	6	1	62人
看取り介護終了				6	4	1	0	3	6	2	2	4	4	4	2	38人
死亡診断状況	主治医	診療前(朝)		2	4			2	2			1	1		1	13
		休憩中(昼)		4	1			1	2	1				1	1	11
		診療後(夕)							1			1	2			4
		休務日								1		2	2	2		7
		(主治医不在) あさひ総合病院							1		1			1		3
入院中永眠						1		1			1					3
追悼カンファレンス				3	5	2	0	0	4	5	2	3	3	6	2	35人

<成果>

- ・退所時に家族から感謝の言葉を多くいただき、職員の励みとなっている。
「おあしすでほんとうに良かった。」「おあしすで終末期を看てもらい、家族はバタバタしなくてよかった。感謝します。」「葬儀屋さんに『きれいなお身体ですね。さすがおあしすさん。』と言ってもらい嬉しく、職員さんに感謝します。」「香典の一筆箋が嬉しかった。」など。
- ・追悼カンファレンスの実施は、グリーフケアの機会となっている。毎回同じケースはないということ、自分の感じたこと、もっとこうしたかった、家族からいただいた言葉などを多職種で共有し、看取り介護について理解を深めることができた。

(2) 充実した生活環境の提供と業務効率化・業務負担の軽減を図る

① 介護ロボットの導入により、自立を支援するとともに生産性の向上を図る。

- ・加算取得開始：生産性向上加算Ⅱ(10単位110床)10月から
- ・導入後の勉強会：NTTサポートによる夜勤業務の負担軽減について(4回)
- ・新しく機器導入：1月あおぞらに導入(aams50台、スマートフォン、ココヘルパ)

<成果>

- ・見守りロボット aams は、呼吸、心拍、寝返りなどを測定し見える化できるので入所者の安全な生活の確保、職員の夜勤業務の負担軽減などの効果があった。
- ・NTTサポート勉強会では、夜勤帯の訪室回数のデータ等をもとに aams で見守り可能な時間帯等を見極め、訪室回数を減らした。
- ・あおぞら1月導入。前年導入のそよかぜと相談し大きな問題なく取り入れた。
- ・あおぞら職員の外部の介護ロボット研修に参加することで積極的に導入を進め、フロア職員も夜勤の負担軽減に関心を持ってみんなで協力し取り組めた。

- ・2月コロナ発生時の夜勤業務は aams で安否確認ができ、精神的身体的な負担の軽減、見守りロボットの効果を実感した。
- ・7年度は新規入所者が多かったが、介護ロボット導入効果のおかげで細やかに状態を把握することができた。

② 科学的介護情報システム（LIFE）を活用した質の高い介護の推進

- ・年4回（4月、7月、10月、1月）入居者のデーター入力をして国に送信した。
- ・全国平均、自施設の割合がフィードバック（数値やグラフ）され共有した。
- ・LIFE マネジメント体制と加算の取得を継続した。

○科学的介護推進体制加算 40 単位/月×110 人

○栄養マネジメント強化加算 11 単位/日×30 日×60 人

<成果>

- ・基本情報を入力することで口腔、認知、日常生活自立度の状況を客観的にみることができ、ケアサービスに活かされている。

3. 令和7年度特別養護老人ホームおあしす新川利用状況

(1) 利用実績

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	R6年度 平均
あおぞら	定員数	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,400	1,550	18,250	1,521	1,521
	特養利用者数	1,444	1,524	1,476	1,550	1,541	1,483	1,530	1,490	1,542	1,523	1,375	1,504	17,982	1,499	1,489
	空床利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	1,444	1,524	1,476	1,550	1,541	1,483	1,530	1,490	1,542	1,523	1,375	1,504	17,982	1,499	1,489
	1日平均	48.1	49.2	49.2	50.0	49.7	49.4	49.4	49.7	49.7	49.1	49.1	48.5	49.3	48.9	48.9
	稼働率(特養)	96.3%	98.3%	98.4%	100.0%	99.4%	98.9%	98.7%	99.3%	99.5%	98.3%	98.2%	97.0%	98.5%	97.9%	97.9%
	稼働率(空床含む)	96.3%	98.3%	98.4%	100.0%	99.4%	98.9%	98.7%	99.3%	99.5%	98.3%	98.2%	97.0%	98.5%	97.9%	97.9%
そよかぜ	定員数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930	10,950	912.5	912.5
	特養利用者数	830	898	883	893	917	887	906	892	918	909	837	930	10,700	891.7	902.4
	空床利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	実利用者数	830	898	883	893	917	887	906	892	918	909	837	930	10,700	891.7	902.4
	1日平均	27.7	29.0	29.4	28.8	29.6	29.6	29.2	29.7	29.6	29.3	29.9	30.0	29.3	29.7	29.7
	稼働率(特養)	92.2%	96.6%	98.1%	96.0%	98.6%	98.6%	97.4%	99.1%	98.7%	97.7%	99.6%	100.0%	97.7%	98.9%	98.9%
	稼働率(空床含む)	92.2%	96.6%	98.1%	96.0%	98.6%	98.6%	97.4%	99.1%	98.7%	97.7%	99.6%	100.0%	97.7%	98.9%	98.9%
かがやき	定員数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	840	930	10,950	912.5	912.5
	特養利用者数	868	891	900	924	923	880	864	896	916	885	798	930	10,675	889.6	892.0
	空床利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
	実利用者数	868	891	900	924	923	880	864	896	916	885	798	930	10,675	889.6	892.0
	1日平均	28.9	28.7	30.0	29.8	29.8	29.3	27.9	29.9	29.5	28.5	28.5	30.0	29.2	29.3	29.3
	稼働率(特養)	96.4%	95.8%	100.0%	99.4%	99.2%	97.8%	92.9%	99.6%	98.5%	95.2%	95.0%	100.0%	97.5%	97.8%	97.8%
	稼働率(空床含む)	96.4%	95.8%	100.0%	99.4%	99.2%	97.8%	92.9%	99.6%	98.5%	95.2%	95.0%	100.0%	97.5%	97.8%	97.8%
入院	入院者数	118	63	19	41	14	10	95	4	12	35	16	11	438	36.5	45.7
	1日平均	3.9	2.0	0.6	1.3	0.4	0.3	3	0.1	0.3	1.1	0.5	0.3	1.2	1.5	1.5
	入院率	3.6%	1.8%	0.6%	1.2%	0.4%	0.3%	2.8%	0.1%	0.4%	1.0%	0.5%	0.3%	1.1%	1.4%	1.4%
	外泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3		
特養	定員数	3,300	3,410	3,300	3,410	3,410	3,300	3,410	3,300	3,410	3,410	3,080	3,410	40,150	3,346	3,346
	特養利用者数	3,142	3,313	3,259	3,367	3,381	3,250	3,300	3,278	3,376	3,317	3,010	3,364	39,357	3,280	3,283
	空床利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	3,142	3,313	3,259	3,367	3,381	3,250	3,300	3,278	3,376	3,317	3,010	3,364	39,357	3,280	3,283
	1日平均	105	107	109	109	109	108	106	109	109	107	108	109	108	108	108
	稼働率(特養)	95.2%	97.2%	98.8%	98.7%	99.1%	98.5%	96.8%	99.3%	99.0%	97.3%	97.7%	98.7%	98.0%	98.1%	98.1%
	稼働率(空床含む)	95.2%	97.2%	98.8%	98.7%	99.1%	98.5%	96.8%	99.3%	99.0%	97.3%	97.7%	98.7%	98.0%	98.1%	98.1%

(2) 入退所者数

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度計	R6年度計
入所	男	0	2	2	1	0	1	2	1	0	0	2	2	13	45
	女	6	3	1	0	1	4	3	2	3	5	2	2	32	38
退所	男	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	3	1	10	46
	女	6	5	1	1	2	5	1	3	4	4	2	2	36	34

(3) 平均介護度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度末 介護度	R6年度末 介護度
あおぞら	男	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.0	4.0	4.6
	女	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1
そよかぜ	男	3.0	3.5	3.7	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.7	3.7	3.7	3.7	3.0
	女	4.0	3.9	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.9	5.9	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0
かがやき	男	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	3.7	3.8	3.8	3.8	3.8	4.1	4.1	4.1	3.9
	女	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.0
全体		4.0	4.0	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9	4.0	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1

4. 令和7年度特別養護老人ホームおあしす新川活動状況

月	行事名	内 容
4月	春の散歩	中庭の花や桜を見て、季節を感じる
	花まつり御膳（7日）	お赤飯、鰻の粕漬焼き、卵豆腐のくずあんかけ、お吸い物、イチゴムース
	春の和菓子（13日）	美味しいおやつを食べながら春を感じる
	※ 百寿祝（24日）	そよかせ入所者の百寿を祝う
	※ 家族会監査会・役員会（25日）	家族会監査、家族会役員会
	※ 家族会総会	家族会総会（感染対策のため中止→資料送付）
	春の甘味祭り（27日）	スイーツを楽しくいただく
5月	菖蒲湯（5日～7日）	菖蒲湯に入りリラックスする
	端午の節句メニュー（5日）	ちらし寿司、鮭の幽庵焼き、菜の花の和え物、お吸い物、プリン
	※ 母の日（11日）	母の日のプレゼント（カーネーション等）
	テラス喫茶（18日）	新緑の季節を感じ喫茶店の雰囲気を楽しむながらおやつをいただく
	クッキング（25日）	サンドウィッチを作って美味しくいただく
6月	まったり散歩	外を散策し季節を感じる
	喫茶（8日）	お菓子を食べゆっくり過ごす
	七夕飾り作り	季節行事の製作を楽しむ
	※ 父の日（15日）	父の日のプレゼント（ケーキ、お花等）
	観音祭り見学（19日）	お祭りの雰囲気を楽しむ
7月	七夕スイーツ（6日）	七夕の思い出話や歌をうたい、スイーツを食べ季節を感じる
	漬物作り（6日）	旬のきゅうりで漬物を作り味わう
	七夕メニュー（7日）	ごはん、鶏肉の梅しそ焼き、冬瓜のくず煮、そうめん汁、みかんフルーチェ
	※ 縁日（20、27日）	駄菓子、綿菓子、たこ焼き、輪投げ、金魚すくい等を楽しむ
	土用の丑の日メニュー（19日）	ごはん、鰻の卵とじ、冬瓜とつみれの煮物、お吸い物、抹茶ババロア
	※ 土用の丑の日メニュー（31日）	ごはん、鰻の蒲焼、冬瓜のそぼろがけ
8月	スイカ割り（3日）	童心に帰り楽しい時間を過ごす
	暑中見舞い撮影会（9～16日）	顔出しパネルを使い暑中見舞い写真を作る
	法話会（17日）	先祖の供養を行う
	納涼デザート（24日）	暑い季節にアイスやゼリーを食べて楽しい時間を過ごす
	※ 百寿祝（25日）	あおぞら入所者の百寿を祝う
9月	入所者健診（12、30日）	入所者健康診断
	季節の和菓子（7日）	和菓子を味わい季節を感じる
	ミニ運動会（7日）	風船バレー、玉入れをし気分転換する
	※ 米寿祝・敬老の日デザート（14日）	好きなスイーツを選び、米寿の方のお祝いをする
	敬老の日メニュー（16日）	お赤飯、金目鯛の煮つけ、柚子なます、茶碗蒸し、梨

10月		秋の味覚を味わう会（12日）	くずこごり栗味を食べ秋の味覚を味わう
		レクリエーション会（12日）	体を動かして気分転換する
		秋の散歩（12日）	外の空気を吸って景色を眺め秋を感じる
		風船バレー大会（19日）	風船バレーで体を動かしてリフレッシュする
		ハロウィン喫茶（26日）	かぼちゃプリンアラモードを食べ秋を感じる
		ハロウィンウィーク（25～31日）	仮装をして写真を撮って楽しむ
		ハロウィンメニュー（31日）	ピラフ、鶏肉のハニーマスタード焼き、パンプキンサラダ、コンソメスープ、ミックス缶
11月		散歩（2日、30日）	秋の風を感じ気分転換する
		スープ（16日）	スープを飲みほっこり温まる
		紅葉スイーツ（16日）	くずこごり柿味を食べ秋の味覚を味わう
		クリスマス飾りつけ（24日）	クリスマスに向け飾りつけを行い楽しむ
12月		季節のデザート（7日）	ゆずのデザートを食べる
		冬至メニュー（22日）	ごはん、鮭の幽庵焼き、南瓜のいとこ煮
	※	クリスマス会（21日）	ケーキを食べてクリスマスプレゼントを贈る
		ゆず湯（22～24日）	ゆず湯に入って季節を感じる
		クリスマスメニュー（25日）	ごはん、鶏肉のチーズソース、キャッシュ風オムレツ、コンソメスープ、苺のパパロア
		年越しそば（31日）	ごはん、豚すき煮、菜の花の湯葉和え、年越しそば、マンゴー缶
1月		新年会&新春ドリンクバー（元旦）	カルタ、福笑い、コマ遊び、お手玉、お菓子&ドリンクバー
		正月祝い膳（元旦朝食）	ごはん、盛り合わせ、法蓮草の白和え、うめびしお、お吸い物
		正月祝い膳（元旦昼食）	お赤飯、黒ムツの照り焼き、煮しめ、お雑煮、水菓子
	※	正月おやつ（元旦）	上生菓子 または 水ようかん
	※	ドリンクバー（2日～3日）	好きな飲み物を飲みながら新年を祝う
	※	甘酒（11日）	甘酒を楽しむ
	※	百寿祝（16日）	あおぞら入所者の百寿を祝う
2月		節分メニュー（3日）	ゆかりごはん、ふくさ焼き、なすの肉みそがけ、いわしのつみれ汁、きなマンジェ
		節分豆まき（1日）	豆まきをして季節を感じる
		バレンタインメニュー（14日）	チキンライス、鶏肉のバジル焼き、カリフラワーサラダ、コンソメスープ、チョコレートパ帕ロア
		バレンタインデー（15日）	チョコレートのお菓子をいただき楽しく過ごす
	※	家族会防災訓練（20日）	家族会緊急連絡訓練
3月		ひな祭りメニュー（3日）	ちらし寿司、白身魚の西京焼き、菜の花の和え物、お吸い物、イチゴムース
	※	ひな祭りお茶会（1日）	美味しいスイーツを食べ楽しい時間を過ごす
	※	百寿祝（2日）	そよかぜ入所者の百寿を祝う
	※	ホワイトデー（15日）	ケーキ、プリンを美味しくいただく

※印がついているものは家族会関連行事です。

※百寿祝い4名、米寿祝い4名

Ⅲ. ショートステイ

1. 令和7年度ショートステイ事業について

近隣の短期入所生活介護事業所の閉鎖や縮小などにより、今年度は多くの申し込みがあった。安定した稼働の維持と、緊急性や優先度を考慮し受け入れを行った。

事業の重点目標として ①安定した稼働の維持、②要望や意見を積極的に受け付け、サービスの質の向上に繋げる、③在宅生活の延長として自立した日常生活支援を提供する事、を意識し取り組んだ。前年度から引き続き、職員体制が安定しない事もあったが、現場の受け入れ体制を確認しながら利用調整を図った。

年度末の2月、3月は長期的な利用者、定期的な利用者の特養入所や他施設への入所が相次ぎ、稼働を維持することが難しい状況だった。

○新規契約者…57人 (R6年 52人)

○新規利用待機者 30人 (R8.3.31現在)

2. 令和7年度 ショートステイ利用状況

令和8年3月31日現在 (単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度 合計	R7年度 平均	前々 R6年度 合計	前々 R6年度 平均
定員数	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7,300	608	7,300	608
実利用者数	500	519	522	556	568	543	515	561	557	525	496	488	6,350	529	5,700	475
1日平均	16.7	16.7	17.4	17.9	18.3	18.1	16.6	18.7	18.0	16.9	17.7	15.7		17.4		15.6
稼働率	83.3%	83.7%	87.0%	89.7%	91.6%	90.5%	83.1%	93.5%	89.8%	84.7%	88.6%	78.7%		87.0%		78.2%

3. 令和7年度 要支援・要介護度別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度 合計	R7年度 平均	前々 R6年度 合計	前々 R6年度 平均
要支援1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	16	0.7	16	1.3
要支援2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	3	2	25	2.6	25	2.1
要介護1	26	29	30	27	25	25	23	29	20	20	21	25	329	25.0	329	27.4
要介護2	16	15	11	14	17	19	20	19	25	22	21	19	205	18.2	205	17.1
要介護3	9	12	12	13	9	9	7	9	10	10	8	6	101	9.5	101	8.4
要介護4	9	14	11	9	12	13	13	14	15	13	12	11	94	12.2	94	7.8
要介護5	4	4	5	4	5	5	6	5	5	6	8	8	70	5.4	70	5.8
合計	68	78	73	71	72	75	71	79	77	73	73	72	882	73.5	840	70.0

4. 成果

- ・ 今年度は、昨年度から引き続き近隣の施設の事業縮小などの影響により新規の契約者が多く、その分待機者も増えた。随時新規利用者の契約と、細やかに待機者の受け入れを調整することで新規の待機期間が短くなり、スムーズな利用に繋ぐことができた。
- ・ 在宅生活が困難な方の長期利用などもあり、昨年度より稼働率が8.8%上がった。
- ・ 利用者からの意見や要望を関係者でしっかり受け止め、迅速に改善に取り組んだことで、日々のケアの見直しや接遇改善に繋がった。

Ⅳ. デイサービスセンター

1. 令和7年度デイサービスセンター事業について

令和7年度重点目標である「公平で偏りのない受け入れ」を心掛け事業を行った。
各事業所ケアマネジャーとの連携を図り、困難ケースや医療的ケアの必要なケースにも柔軟に対応した。

新規契約者は53人（総合事業新規契約者16人介護給付新規契約37人）、総登録者153人だったが、入院者90人、特養、グループホーム入所13人があり、年度末最終登録者数は117人だった。

令和7年度は、新型コロナウイルスやインフルエンザにより利用者、職員合わせて9人の感染者があったが、感染予防対策を徹底し拡大防止に努めた。

8月に利用者が行方不明となり、翌日発見されるという事故があった。関係者で再発防止対策を講じ、その対策を徹底して取り組んだ。

ボランティアの受入れでは、児童生徒ボランティア活動体験の中高生12人を受け入れた。

2. 令和7年度デイサービスセンター利用状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度 合計	R6年度 合計
事業日数	26	27	25	27	26	26	27	25	26	24	24	26	309	309
事業対象者(実)	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.8	0.5
事業対象者(延)	5	4	4	7	5	8	7	7	9	8	8	8	80	22
総合事業 要支援1 要支援2														
実数	12	11	11	12	12	12	13	14	12	14	16	15	12.8	12.7
延数	44	45	40	52	43	45	53	49	45	49	58	53	576	547
実数	13	13	12	10	10	12	12	12	11	12	14	13	12.0	13.8
延数	91	91	80	81	83	97	96	84	86	83	93	81	1,046	1,070
延数合計	140	140	124	140	131	150	156	140	140	140	159	142	1,702	1,639
平均一日利用者数	5.4	5.2	5.0	5.2	5.0	5.8	5.8	5.6	5.4	5.8	6.6	5.5	5.5	5.3
介護給付 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5														
実数	37	34	34	32	31	31	32	33	35	31	30	32	32.7	39.5
延数	255	247	224	219	223	238	243	223	243	181	179	212	2,687	3,262
実数	19	18	20	20	19	21	23	22	23	23	21	22	20.9	19.1
延数	159	163	158	180	176	183	197	189	187	170	162	166	2,090	1,726
実数	5	5	5	6	3	7	6	8	7	7	7	8	6.2	2.0
延数	28	29	28	24	18	32	30	38	45	36	40	45	393	115
実数	4	6	6	6	6	5	4	3	4	4	4	4	4.7	3.5
延数	36	58	42	46	67	51	39	39	44	42	40	39	543	400
実数	2	2	2	2	2	3	3	3	3	4	4	4	2.8	3.1
延数	7	6	13	4	9	15	11	16	13	18	23	25	160	212
延数合計	485	503	465	473	493	519	520	505	532	447	444	487	5,873	5,715
平均一日利用者数	18.7	18.6	18.6	17.5	19.0	20.0	19.3	20.2	20.5	18.6	18.5	18.7	19.0	18.5
身障者 実数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0	2.0
延数	6	9	8	6	10	9	7	12	12	11	9	10	109	101
平均一日利用者数	0.2	0.3	0.3	0.2	0.4	0.3	0.3	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3
総合実利用者数	95	92	93	92	87	95	97	99	99	99	100	102	95.8	96.1
総合延利用者数	631	652	597	619	634	678	683	657	684	598	612	639	7,684	7,455
一日平均 (人)	24.3	24.1	23.9	22.9	24.4	26.1	25.3	26.3	26.3	24.9	25.5	24.6	24.9	24.1
稼働率%	70.2%	69.9%	68.2%	65.5%	69.7%	74.5%	72.0%	75.0%	75.2%	71.1%	72.8%	69.1%	71.1%	68.9%

3. 令和7年度デイサービスセンター活動状況

月	事業	活動内容
4 月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○しりとりゲーム ○歌謡ショー ○お花見喫茶 ○ビンゴゲーム大会 ○脳トレ ○カレンダー作り ○季節の風呂「桜の湯」等 ○お花見御膳 ○手話
5 月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○歌詞の穴埋めゲーム ○脳トレ・ゲーム ○介護予防体操 ○カレンダー作り ○季節の風呂「菖蒲湯」等 ○カラオケ大会 ○喫茶おあしす
6 月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○言葉合わせゲーム ○ビンゴゲーム ○すき焼きとカレー ○短冊・七夕飾り作り ○カレンダー作り ○季節の風呂「紫陽花の湯」等 ○あじさい喫茶
7 月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○脳トレ「間違い探し」 ○七夕飾り付け ○歌詞の穴埋めゲーム ○ビンゴゲーム ○カレンダー作り ○この歌なーに？ ○季節の風呂「朝顔の湯」等 ○七夕そうめん ○七夕喫茶
8 月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○スイカ作り ○脳トレゲーム ○サマージャンボくじゲーム ○カレンダー作り ○介護予防体操 ○スイカ割り ○季節の風呂「ハワイアンブルー」「ハイビスカスのアロマ」等 ○「夏祭り」喫茶
9 月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス 地域交流	○ビンゴゲーム ○コスモス飾り作り ○カレンダー作り ○脳トレ ○季節の風呂「ボジョレイヌーボーワインの湯」等 ○てんたかく喫茶 ○かぼちゃ作り ○避難訓練
10月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○しりとりゲーム ○合唱コンクール ○秋の大運動会 ○カレンダー作り ○季節の風呂「かぼちゃ湯」等 ○秋の味覚喫茶 ○演奏会
11月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○雪だるま作り ○ビンゴゲーム ○はてな美術館 ○クリスマスツリー飾り ○脳トレ ○カレンダー作り ○季節の風呂「ゆず湯」等 ○紅葉喫茶

月	事業	活動内容
12月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○クリスマスツリー飾り ○介護予防体操 ○脳トレ ○しりとりゲーム ○ビデオ鑑賞 ○季節の風呂「どくだみの湯」等 ○クリスマス喫茶（ハンドベル演奏）
1月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○新春「かるた」大会 ○脳トレ ○新春カラオケ大会 ○カレンダー作り ○季節の風呂「祝い酒の湯」等 ○お正月祝い膳 梅酒（ノンアルコール）で乾杯 ○お茶会喫茶（抹茶）
2月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○節分、豆まきゲーム ○お雛様飾り作り ○ビンゴゲーム大会 ○カレンダー作り ○脳トレ ○季節の風呂「金柑蜂蜜の湯」等 ○バレンタイン喫茶
3月	施設内活動 入浴サービス 食事サービス	○合唱コンクール ○手話ソング ○ビデオ鑑賞 ○新聞ビリビリ大会 ○ビンゴゲーム ○季節の風呂「よもぎの湯」等 ○ひなまつり喫茶

4. 成果

- ・ 令和7年度利用実績は、令和6年度にくらべ0.8人/日の増となった。新規利用者の確保、利用回数を増やすなどの対応が成果に繋がった。
- ・ 行方不明事故後、再発防止を徹底するため人感センサーと監視カメラを設置した。今後同じ事故を絶対に繰り返さないという強い意識で周知され、安全・安心なサービス提供に繋がった。
- ・ 業務改善については、手書きの記録を電子入力へ転換し、業務効率化に繋がった。
- ・ 地域交流、ボランティア受け入れは、新型コロナウイルス感染拡大防止の為に制限していたが、夏休みに一日体験ボランティアを希望され利用者は、学生と一緒にカレンダーの塗り絵を行い大変喜ばれた。

V. 在宅介護支援センター

1. 令和7年度在宅介護支援センター事業について

在宅の高齢者やその家族からの相談を受け、介護、医療、福祉など適切なサービスにつなげるなど、相談内容に応じた支援を行った。

令和7年度は、①利用者・家族の意向尊重と信頼関係の構築、②社会資源の情報収集と適切な情報提供、③多職種連携と顔の見える関係づくり、に重点を置き事業に取り組んだ。

2. 居宅介護支援

- ・ケアプラン作成件数は年間432件(月平均36件)であった。利用者数は概ね安定しており、地域との連携を図りながら支援を実施した。
- ・新規契約は13件で、紹介元は地域包括支援センター9件、家族2件、医療機関2件であった。
- ・終了は14件で、内訳は死亡4件、長期入院2件、入所8件であった。
- ・居宅介護支援の状況においては、入所施設（特養・老健・グループホーム等）の受け入れが早く、入所までの待機期間が短い傾向が見られた。また、一人暮らしや脳血管疾患を有する比較的若年の利用者が目立った。これらの状況を踏まえ、入所調整や在宅支援において、迅速かつ適切な対応に努めた。
- ・ケアプランデータ連携システムについては、施設内事業所と試行的に実施し導入に向けた取り組みを行った。

(1) 居宅介護支援状況（介護度別介護保険サービス利用件数） 令和8年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度 合計	R7年度 月平均	参考 R6年度 合計	参考 R6年度 月平均
事業日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242	20.2	243	20.3
要介護1	17	18	19	18	18	15	16	16	17	18	17	14	203	16.9	230	19.2
要介護2	9	8	7	8	8	10	11	11	11	12	12	13	120	10.0	105	8.7
要介護3	6	5	5	5	3	4	3	3	5	3	3	4	49	4.1	37	3.1
要介護4	3	4	5	3	4	4	3	3	3	3	3	3	41	3.4	46	3.8
要介護5	1	1	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1	19	1.6	18	1.5
合 計	36	36	39	37	35	35	35	34	37	37	36	35	432	36.0	436	36.3

(2) 介護予防サービス支援状況(介護予防サービス利用件数)

令和8年3月31日現在

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度 合計	R7年度 月平均	参考 R6年度 合計	参考 R6年度 月平均
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0

(3) 総合相談対応実施状況

令和8年3月31日現在

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度 合計	R7年度 月平均	参考 R6年度 合計	参考 R6年度 月平均
事業日数		21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242	20.2	243	20.3
内容別 相談件数	サービス全般	44	39	38	44	45	38	38	41	53	50	33	39	502	41.8	496	41.3
	ホームヘルパー	3	2	3	6	2	1	1	0	6	2	1	4	31	2.6	37	3.1
	デイサービス	14	4	9	11	14	10	18	12	11	16	6	15	140	11.7	135	11.3
	ショートステイ	3	13	15	9	12	9	11	14	7	9	12	9	123	10.2	104	8.7
	入居サービス	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2	0	0.0
	結核サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
	デイケア	2	2	10	3	1	2	4	0	1	1	1	0	27	2.3	38	3.2
	その他	5	10	6	5	3	5	6	2	5	3	9	3	62	5.2	71	5.9
	福祉機器	7	4	4	0	1	2	5	4	0	5	4	4	40	3.3	39	3.2
	介護用品	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	4	0.3	3	0.2
	医療相談	7	18	12	16	9	12	12	2	7	11	5	16	127	10.6	155	12.9
	健康相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
	施設入所	2	0	2	2	1	0	2	0	2	3	3	1	18	1.5	28	2.3
訪問看護	0	0	3	0	1	0	1	0	2	0	0	0	7	0.6	5	0.4	
住宅改造	1	1	0	6	4	6	1	7	1	1	0	1	29	2.4	9	0.8	
合 計		88	95	102	102	93	85	100	83	95	103	74	92	1,112	92.7	1,120	93.3

3. シルバーハウジング生活相談員派遣

- ・東町町営住宅シルバーハウジング入居者(20世帯)の援助業務を町から受託し、援助員を派遣した。なお、令和8年3月31日現在の在室は15世帯である。
- ・入居者の高齢化や介護認定者の増加を踏まえ、引き続き入居者が自立し、安全で快適な生活を営めるよう生活指導や相談支援、安否確認等を行った。
- ・緊急時対応件数は20件であり、そのうち18件は誤報であった。緊急時の見逃しを防ぐため、毎回適切な対応に努めた。

(1) シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施状況

令和8年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度 合計	R7年度 月平均	参考 R6年度 合計	参考 R6年度 月平均
管理日数	21	20	21	22	20	20	22	18	20	19	18	21	242	20.2	243	20.3
緊急時の 対応件数	2	0	3	4	0	1	3	0	0	1	0	6	20	1.7	11	0.9
生活指導 相談件数	120	117	98	116	108	105	111	111	103	118	102	115	1,324	110.3	1,355	112.9
一時的家 事支援件	3	1	3	2	2	3	3	1	2	4	0	0	24	2.0	135	11.2
関係機関 と連携件	2	3	2	2	0	0	4	5	2	2	5	2	29	2.4	38	3.2
合計	127	121	106	124	110	109	121	117	107	125	107	123	1,397	116.4	1,539	128.2

4. 成果

- ・利用者および家族の意向を尊重した在宅支援を行うことで、信頼関係の構築につながった。
- ・社会資源の情報収集に努め、利用者および家族のニーズに応じた適切な情報提供を行うことができた。
- ・地域ケア会議や研修への参加を通じて知識の向上を図り、多職種連携や顔の見える関係づくりの強化につながった。

Ⅵ. 入善町地域包括支援センター

1. 令和7年度入善町地域包括支援センター事業について

地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援するため以下の事業を一体的に実施した。また、高齢者の身近な相談窓口として相談しやすい雰囲気づくり、迅速な対応を第一に業務を遂行した。

2. 総合相談支援

町内の高齢者の総合相談窓口としての役割を担った。例年と比較し全体的な件数に大きな変化はないが介護認定が決定する前のサービス調整、暫定サービスが3倍以上増加した。

① 相談総数

	本人	家族	役場・組合	サービス事業所	居宅支援事業所	医療機関	民生委員	その他	R7年度合計	参考R6年度合計
電話	541	901	53	509	67	255	7	38	2,371	2,240
訪問	1,978	183	10	55	28	26	1	15	2,296	2,371
来所	101	262	4	33	13	0	8	3	424	479
合計	2,620	1,346	67	597	108	281	16	56	5,091	5,090

内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度合計	参考R6年度合計
サービス調整	46	61	69	66	37	48	49	63	47	69	76	58	689	824
モニタリング	103	76	84	70	63	96	79	69	88	56	95	54	933	849
サービス担当者会議	10	10	11	21	14	13	13	10	10	15	12	12	151	164
ケアマネジメント契約	10	9	5	16	8	10	9	12	14	15	9	7	124	169
暫定サービス	41	28	22	43	27	13	25	19	4	15	12	17	266	91
保健・医療関連	17	24	20	17	15	18	14	11	23	19	9	21	208	235
施設入所	2	9	7	13	5	1	2	1	6	2	1	4	53	57
町福祉サービス	4	2	7	0	0	16	2	1	1	0	0	1	34	52
高齢者虐待	0	0	0	0	0	0	2	5	2	2	1	2	14	32
成年後見・権利擁護	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	4	3
認知症	5	3	4	6	0	6	0	0	1	0	0	13	38	38
福祉用具	34	16	20	27	9	27	38	41	54	25	20	25	336	294
住宅改修	13	14	13	8	19	11	17	9	16	7	8	10	145	145
介護全般	135	133	177	158	167	175	179	151	191	164	132	174	1936	1941
継続的支援	12	4	3	14	9	1	0	5	11	11	4	7	81	104
介護保険制度関連	5	0	0	5	0	2	1	2	1	1	1	0	18	47
その他	6	5	2	6	1	1	1	0	4	2	7	26	61	45
合 計	444	394	444	471	374	439	431	399	473	403	387	432	5091	5090

② 実態把握調査

(人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H7年度 合計	参考H6年度 合計
5	4	7	0	3	8	2	1	4	11	0	2	47	74

③ 講師派遣等

- ・地域密着型サービス事業所運営推進会議（8回）
- ・入善町地域支え合い推進会議（2回）
- ・入善町地域福祉活動計画策定委員会（1回）
- ・新川地域リハビリテーション連絡協議会（1回）

3. 権利擁護事業

- ① 成年後見制度、日常生活自立支援事業の活用についての相談
- ② 老人福祉施設等への措置支援
- ③ 高齢者虐待への対応
- ④ 消費者被害対応

4. 包括的・継続的マネジメント支援

① 地域ケア会議

月	項 目	月	項 目
4月	個別事例検討（1事例）	11月	研修会（介護医療連携）
5月	前年度報告・今年度の計画について	2月	事例検討会（1事例）
7月	居宅支援事業所との意見交換会	2月	事例検討会（1事例）
8月	自立支援型ケアマネジメント個別会議	3月	研修会（ケアプランデーター連携）
9月	個別事例検討（1事例）		

② 講師派遣等

- ・入善町生活介護支援サポーター養成研修講師2回（職員1名派遣）
- ・入善町こころと暮らし、いのちの相談会1回（職員1名派遣）
- ・認知症サポーター養成講座講師2回 桃李小学校・アルビス入善店（職員2名派遣）
- ・養照寺声明会 （職員2名派遣）

5. 介護予防支援

昨年より件数は減少した。町内の在宅サービスにおいては土曜日の営業を中止したり、定員を少なくする傾向がみられている。町内の65歳以上の人口も減少傾向にあり来年以降も減少が継続すると推測する。

① 予防給付・総合事業・住宅改修

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R7年度 合計	参考R6年度 合計
予防給付	267	264	262	258	258	256	253	264	262	254	258	260	3,116	3,273
訪問・通所型	75	76	76	78	79	82	82	83	76	81	85	82	955	1,048
短期通所・訪問	0	0	0	0	0	0	14	13	14	14	0	0	55	58
配食	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	4	1
住宅改修	0	0	2	1	0	3	0	1	0	2	1	0	10	5
合計	343	340	338	336	337	341	349	362	352	351	344	342	4,135	4,385
内委託分	38	37	37	35	35	36	36	37	35	34	34	34	428	434

6. その他

- ・認知症予防教室 来いちゃ倶楽部（8回）
- ・認知症初期集中支援事業（3回）
- ・富山県技術専門学院新川センター講師2回（職員1名派遣）

7. 成果

- ・認知症の方への接し方をわかりやすく解説した動画「認知症の方への接し方」を作成し、認知症サポーター養成講座や出前講座（2回）で紹介し好評だった。また委託事業である認知症予防教室や初期集中支援チームも随時開催し地域の認知症予防に努めた。
- ・ケアプランデータ連携を先行実施し、システムの活用方法についても地域ケア会議において勉強会を開催し町内の介護施設全体のレベルアップに努めた。包括内に蓄積していた紙ベースでの情報もデータ化に整理することで業務効率を改善した。
- ・4月に職員（社会福祉士）1人の入職あり。同僚や上司に様々なことを聞きやすい雰囲気を作心がけ、明るく、楽しく、働きやすい職場づくりを目指した。夏場はグリーンカーテンを栽培し省エネ・節電を意識した。

